



関東支部 第121回(2008年度) 研究大会のご案内

大会テーマ 「効果的な音声指導」

会員・関係者 各位

今年の夏は WorldCALL 2008 に足を運ばれましたでしょうか。充実した発表に満足された事と存じます。さて秋の研究大会ですが、この WorldCALL のため例年とは異なり、関東周辺以外には出ず、横浜で開催することとなりました。音声を重視した授業は私たちが常に心がけていることですが、今回はいろいろな面から再考してみたいと思います。シャドーイングなどを授業に活かすことをお考えなら参考になるのではないのでしょうか。非会員の先生もお誘いになって是非お越し下さい。

2008年9月

外国語教育メディア学会関東支部
支部長 見上 晃

記

主催 外国語教育メディア学会(LET)関東支部
後援 神奈川県教育委員会
期日 2008年10月18日(土)
会場 関東学院大学関内メディアセンター
(横浜メディア・ビジネスセンター(YMBC)8F)
<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/modules/media7/>
■JR、横浜市営地下鉄「関内駅」から徒歩5分
■みなとみらい線「馬車道駅」「日本大通り駅」から徒歩5分

外国語教育メディア学会(LET)関東支部事務局

〒193-0985 東京都八王子市館町 815-1
拓殖大学外国語学部 見上晃研究室内
電話&FAX 042-665-3185
E-mail kanto-office@j-let.org

日 程

9:20~

受 付 関東学院大学関内メディアセンター(8階)

9:40~11:10

ワークショップ M-802 教室(PC 教室)

「シャドーイング/リピーティングを無理なく行うには」

講師 新田 晴彦 (専修大学)

シャドーイングもリピーティングも実際にやってみると簡単ではありません。特に話す速度が上がってくると手に負えなくなります。どのようにすればやりやすくなるのか、サポートするPCソフトを用いて対策を考えていきます。

(※参加者の方はミニプラグ端子対応のマイク付ヘッドセットをお持ちください)

賛助会員によるプレゼンテーション M-803 教室

様々な電子黒板の特徴や、授業での活用を紹介します。 提供:(株) 内田洋行

① e-黒板(インタラクティブユニット) ② スマートボード ③ サイバーボード

11:15~11:25

開会行事 M-803 教室

総合司会

奥 聡一郎 (関東学院大学)

LET 関東支部長挨拶

見上 晃 (拓殖大学)

会場校挨拶

宮崎 道雄 (関東学院大学副学長)

11:25~12:30

基調講演 M-803 教室

「今日のコミュニケーション主体の英語教育における音声教育とは」

司会 奥 聡一郎 (関東学院大学)

講師 御園 和夫 (関東学院大学)

ここ四半世紀の間に"Englishes"という言い方を耳にするようになった。「英語たち」である。Kachruなどを始めとし、いわゆる英語はすでに英米(英語圏)の英語だけではない、という主張が台頭しつつある。このような流れの中で、我が国のコミュニケーション主体の英語教育においてどのような態度で音声教育に取り組むべきか、また、効果的な音声指導のありかたなどについて、なるべく具体的にお話をしたい。

12:30~13:45

昼食・展示

- <昼食> 周辺ランチマップを配布いたしますのでご覧ください。
<展示> M-805 教室とラウンジで行っています。

13:45~15:25

研究発表・実践報告 M-801, M-802, M-803 教室

第1会場 M-801 司会 小原 平 (東京慈恵会医科大学)

- 13:45~14:15 ①電子黒板を利用した小学校英語授業の諸要件／8年間の実践から
田淵 龍二(ミント学習教室)
マイク キャネヴァリ(マイイングリッシュ)
- 14:20~14:50 ②英語音声学授業における CALL の利用
小林 篤志(女子美術大学)
- 14:55~15:25 ③CollabTest を利用し、英語学習がどのように変わったか
南 紀子(創価女子短期大学)

第2会場 M-802 司会 吉成 雄一郎 (東京電機大学)

- 13:45~14:15 ①Web教材を利用した自律学習指導
跡部 智(慶應義塾普通部)
- 14:20~14:50 ②モバイル e-Learning の可能性と今後の課題
南井 紀子(国際医療福祉大学)
齋藤 智恵(国際医療福祉大学)
- 14:55~15:25 ③外国語コミュニケーション学習における社会的存在感の効果
:対面とビデオカンファレンスの比較 山田 政寛(東京大学)

第3会場 M-803 司会 二宮 正男 (新宿区立西戸山中学校)

- 13:45~14:15 ①教室でのシャドーイング;いつ、どこで、誰に、どのように、何のために?
鈴木 久実(東京都立桐ヶ丘高等学校)
- 14:20~14:50 ②音声教材開発のための基礎研究(2)
- 実用英語技能検定(英検)リスニング問題の音声分析 -
長田 宣子(早稲田大学)
小屋 多恵子(法政大学)
下山 幸成(東洋学園大学)
- 14:55~15:25 ③日本人英語学習者の発音におけるハイパーコレクション
佐藤 明彦(拓殖大学)

15:30~17:20

授業研究

M-803 教室

リメディアル教育における音声指導を中心にした英語授業実践
—英検3級リスニング問題からCNN シャドーイングにいたるまで—

司 会 飛田 ルミ (足利工業大学)
授業発表者 鈴木 政浩 (西武文理大学)
指定討論者 湯舟 英一 (東洋大学)

近年中学2年レベルの英語を音読する能力も身につけないうま大学に入学して来る学生が増えてきました。こうしたレベルの学生を対象として授業を担当し、もう10年が経過しました。今回は2008年度4月から7月までの音読を中心とした授業実践を報告します。最初の教材は英検3級リスニングテストのtranscript。イントラネットに立てた個人サーバーにアップロードした音声教材のページと、音読能力測定ソフトを駆使しました。音読中心の授業づくりを通じて、学生がどのように英語基礎学力を獲得したかをご紹介します。後半は、選択科目における学生たちによるシャドーイングのパフォーマンスと、その指導手順をご披露します。選択科目では、いわゆるリピーターが多く、半期・通年で音読指導を十分受けた、いわばthresholdを通過した学生が受講してきます。こうした学生たちがCNNや洋画のtranscriptに果敢に挑戦する姿は実に頼もしいものです。

17:20~17:30

閉会行事

M-803 教室

挨拶 小原 平 (副支部長・東京慈恵会医科大学)

18:00~20:00

懇親会

中華街・珠江飯店(会場まで徒歩15分ほど)

司 会 湯舟 英一 (東洋大学)

場所をメディアセンターから中華街の中心部へ移動します。申込は参加費¥5,000を当日受付にて承ります。研究大会の終わりに発表者との懇談や参加者同士の情報交換など、中華の名店で楽しい一時を過ごしませんか。

参加者へのお願いとご案内

1) 参加費について

<会 員>参加費は無料です。

2008年度会費(¥7,000/学生¥4,000)未納の方は受付で納入してください。

<団体会員>1団体につき1名が無料で参加できます。2人目からは当日会費を納入してください。

<非 会 員>1,000円(資料代) 学生も同額です。

2) 録音・録画についてはお断りしています。ご了承ください。

3) 駐車場はございませんので車でのご来場はご遠慮ください。